

令和 5(2023)年度 伊丹市環境基本計画(第 3 次)(改訂版) 年次報告書



地域循環共生事業「海の森プロジェクト」

令和 6(2024)年 9 月
伊丹市

本書について

伊丹市では、「伊丹市環境基本計画(第3次)(改訂版)」(2021年3月策定、2023年3月改定)(以下、「本計画」という。)にて定めた、気候変動、循環型社会、自然共生・生物多様性、都市環境、人づくりといった5つの基本目標に基づき、各種事業や活動を展開することとしています。

伊丹市環境基本計画(第3次)(改訂版)年次報告書は本計画における目標の達成状況や各種事業及び活動の実施状況について整理をし、適宜、取組内容の改善を図ることを目的として毎年作成・公表するものです。

このたび、「伊丹市環境基本計画年次報告書(2023年度)」が、完成しましたので公表いたします。

目次

伊丹市環境基本計画(第3次)(改訂版)の施策体系	1 ページ
--------------------------------	-------

進捗状況の点検結果

基本目標 1 気候変動に対応するまち	3 ページ
基本目標 2 資源が循環する環境に配慮したまち	5 ページ
基本目標 3 自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち	7 ページ
基本目標 4 良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち	9 ページ
基本目標 5 環境意識と協働の輪が広がるまち	11 ページ
参考指標の進捗状況	13 ページ

※ 資料編は、グリーン戦略室ホームページにてご覧いただけます。

伊丹市環境基本計画（第3次）（改訂版）の施策体系

環境の
将来像

基本目標（成果指標）

自然と都市機能が調和した快適でつるおいのあるまち

【気候変動】

気候変動に対応するまち

成果指標

	現状（2019年度）	目標（2028年度）
①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	25,059 t-CO ₂ ※1	18,180 t-CO ₂
②地域からの温室効果ガス排出量（推計値）	870 千 t-CO ₂ ※2	722 千 t-CO ₂
③浸水対策達成率	83.83 %	84.26 %

（※1 2020年度実績値）（※2 2018年度実績値）

【循環型社会】

資源が循環する環境に配慮したまち

成果指標

	現状（2019年度）	目標（2028年度）
①発生抑制率	4.9 %	10.9 %
②資源化率	17.5 %	18.6 %
③最終処分量（埋立量）	7,020 t	6,719 t

【自然共生・生物多様性】

自然環境と共生し生物多様性が
保全されるまち

成果指標

	現状（2019年度）	目標（2028年度）
①みどりに対する市民満足度	— %	80 %
②在来生物の種類数	188 種	193 種
③自然緑化活動等に参加している団体数・参加人数	125 団体, 494 人	125 団体, 700 人

【都市環境】

良質な都市空間の整備と生活環境が
保全されるまち

成果指標

	現状（2019年度）	目標（2028年度）
①環境基準達成率（水質（BOD））	100 %	100 %
②地域清掃活動支援件数	771 件	1,100 件
③景観に対する市民満足度	79.9 %	80 %
④交通ネットワークに対する市民満足度	72.4 %	73 %

【人づくり】

環境意識と協働の輪が広がるまち

成果指標

	現状（2019年度）	目標（2028年度）
①環境イベント・講座等に参加した人数	4,969 人	5,250 人
②緑化や自然保護活動に参加した市民の割合	— %	10 %

施策の方向性	事業
①気候変動の緩和策 (重点プロジェクト)	●行政の率先行動の推進 ●市民・事業者への活動促進 ●市営バス・自転車利用の推進
②気候変動の適応策 (重点プロジェクト)	●異常気象による浸水対策及びヒートアイランド対策 ●熱中症・感染予防対策に関する普及啓発 ●災害時におけるエネルギー確保の検討
③廃棄物の発生抑制・再使用等の推進	●ごみの発生抑制・再使用の推進 ●適正分別・リサイクルの推進 ●事業者への3R推進 ●プラスチックごみの発生抑制 ●適正処理の推進
④食品ロスの削減 (重点プロジェクト)	●食品ロス削減の推進
⑤みどりの充実	●魅力ある公園緑地づくり ●身近なみどりの充実
⑥生物多様性の保全	●生物多様性に関する正しい知識の普及 ●生物多様性の保全及び再生 ●野生生物の保全管理及び侵略的生物への対策
⑦生活環境の保全	●監視・指導・啓発等の継続実施
⑧良質な都市空間と住環境の形成	●環境美化活動の推進 ●環境に配慮した都市の形成 ●都市農業の推進 ●良好な景観誘導
⑨安全で快適な道路空間の整備	●都市計画道路・自転車レーン等の整備 ●交通安全に関する普及啓発
⑩多様な主体が連携協力する体制の推進 (重点プロジェクト)	●パートナーシップの推進及び活動の場・機会の創出 ●環境と経済の共生
⑪環境教育・環境学習の推進	●環境教育・環境学習の充実 ●環境情報の収集・提供

基本目標1

気候変動に対応するまち

■成果指標の進捗状況

成 果 指 標	基準値 (2019 年度)	指標の 性質※	2023 年度 実績	目標 (2028 年度)
① 本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量	25,059 t-CO ₂ ※ ¹	↓	19,824 t-CO ₂	18,180 t-CO ₂
② 市域からの温室効果ガス排出量（推計値）	870 千 t-CO ₂ ※ ²	↓	844 千 t-CO ₂ ※ ³	722 千 t-CO ₂
③ 浸水対策達成率	83.83%	↑	88.32%	84.26%

（※1 2020 年度実績値）（※2 2018 年度実績値）（※3 2020 年度実績値）

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性① 気候変動の緩和策（重点プロジェクト）

■2023 年度の主な取組

Do

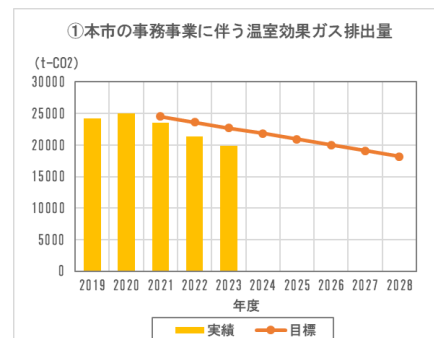
- ・地球温暖化防止に関する体験型環境イベントの開催や市広報媒体を活用した啓発等を行った。また、伊丹市ゼロカーボンシティ宣言に基づく 5 つの取組方針に従い、公共施設への太陽光パネルの設置、公用車への EV の導入、再エネ電力の調達等を行った。



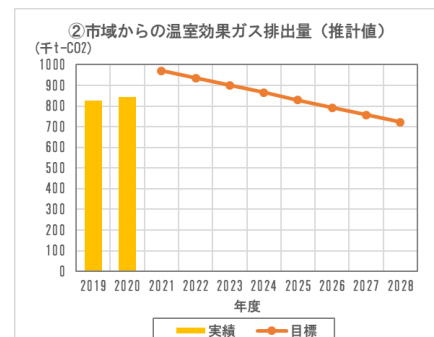
- ・主に小学生を対象とした出前講座を実施し、環境負荷について低学年にも理解できるようにクイズ形式で説明を行うなど、啓発を図った。



Check



①本市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、2023 年度の単年度目標を達成した。



②市域からの温室効果ガス排出量（推計値）は、次年度以降に計画期間の単年度目標を評価する。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・市民や市内事業者向けの共同調達事業を実施する。
- ・多様な主体（事業者、教育機関等）と連携して体験型環境イベントを実施するとともに、市広報媒体を活用した啓発等を行う。

施策の方向性② 気候変動の適応策（重点プロジェクト）

■2023 年度の主な取組

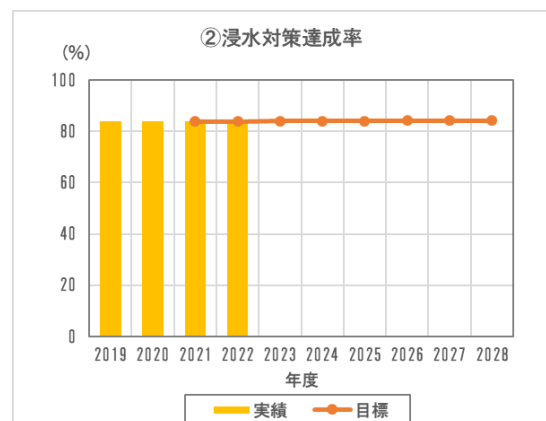
Do

- ・各種救急講習、市 HP、広報及び FM いたみ等の各媒体を利用し、普及啓発活動を実施した。また、予防救急のリーフレットを活用し予防啓発を実施した。



- ・市民団体と連携しグリーンカーテン用のゴーヤの苗の配布を行った。また、公共施設（保育園等）にてグリーンカーテンの取組を実施し、身近な暮らしの中でできる環境配慮行動の実践が行えた。

Check



②浸水対策達成率は、2023 年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・新たに発電機 3 台を購入する。また、協定事業所と連携し、災害時における学校体育館空調に係る発電機の起動訓練を実施する。
- ・改正気候変動適応法に基づくクーリングシエルの指定・活用を検討する。

基本目標2

資源が循環する環境に配慮したまち

■成果指標の進捗状況

成 果 指 標	基準値 (2019 年度)	指標の 性質※	2023 年度 実績	目標 (2028 年度)
① 発生抑制率	4.9%	↑	12.7%	10.9%
② 資源化率	17.5%	↑	17.1%	18.6%
③ 最終処分量（埋立量）	7,020t	↓	6,240t	6,719t

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性③ 廃棄物の発生抑制・再使用等の推進

■2023 年度の主な取組

Do

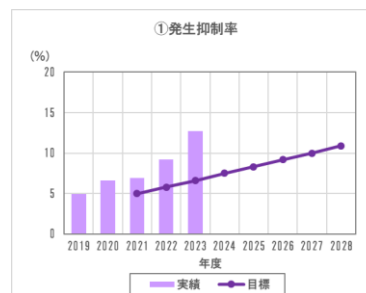
- ・事業者とリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結し不用品等の再使用を推進した。



- ・伊丹市と包括連携協定を締結しているイオン株式会社と協働で、マイボトルの普及啓発に向けた取組をイオンモール伊丹にて実施した。またスワンホールで開催された環境啓発イベントにおいて給水体験事業を実施することでマイボトルの活用促進を行った。



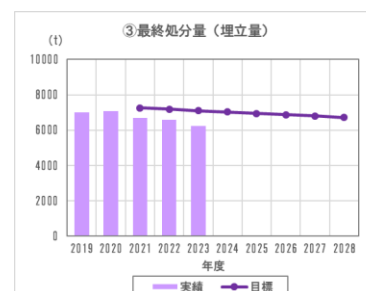
Check



①発生抑制率は、増加傾向にあり、2023年度は単年度目標を達成した。



②資源化率は、2023年度は単年度目標を達成できなかった。



③最終処分量（埋立量）は、緩やかな減少傾向にあり、2023年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・イオンモール伊丹でのマイボトル普及啓発に向けた取組と、環境啓発イベントでの給水体験事業を通じて、給水スポットの PR を図る。
- ・6月の環境月間・10月の食品ロス削減月間に加えて12月の宴会シーズンに合わせてごみ減量化について広報活動を行う。

施策の方向性④ 食品ロスの削減（重点プロジェクト）

■2023 年度の主な取組

Do

- ・市内スーパーと連携して市のマスコットキャラクターたみまるデザインのてまえどり啓発物品（レールポップ・ポスターなど）を掲示する活動を10月の食品ロス月間に行った。



- ・8月と12月に市内金融機関（尼崎信用金庫）と連携してフードドライブ活動を行った。その活動を広報紙・HP・SNS・デジタルサイネージ（店内・店外）において広報周知した。2月に市民団体が市庁舎で行うフードドライブ活動を支援した。

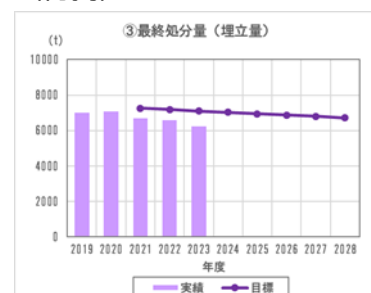
Check

（再掲）



①発生抑制率は、増加傾向にあり、2023年度は単年度目標を達成した。

（再掲）



③最終処分量（埋立量）は、緩やかな減少傾向にあり、2023年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・市内金融機関におけるフードドライブ開催を支援し、他の活動主体が広がるよう広報活動や物品による支援を行う。

基本目標 3

自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち

■成果指標の進捗状況

成 果 指 標	基準値 (2019 年度)	指標の 性質※	2023 年度 実績	目標 (2028 年度)
① みどりに対する市民満足度	－%	↑	89.9%	80.0%
② 在来生物の種類数	188 種	↑	195 種	193 種
③ 自然緑化活動等に参加して いる団体数・参加人数	125 団体、 494 人	↑	120 団体、 315 人	125 団体、 700 人

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性⑤ みどりの充実

■2023 年度の主な取組

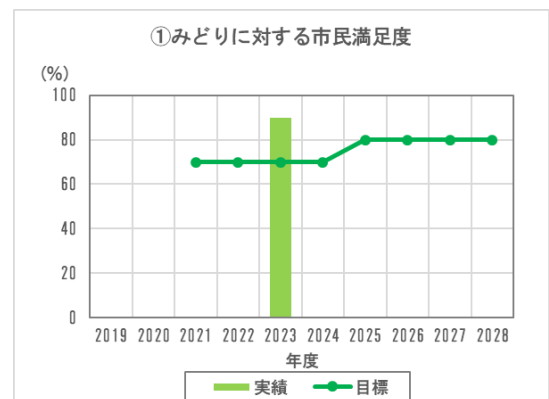
Do

- ・市民団体との協働による地域産苗木等の栽培を行い、その一部を昆陽池公園の野鳥の島に植栽した。



- ・瑞ヶ池公園や笹原公園、昆陽南公園等の6公園緑地における公園アダプト協定や市内花壇を管理運営する市民緑化協定による市民協働のもと、花壇や樹木の維持管理に取り組んだ。

Check



①みどりに対する市民満足度は、2023 年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・公園施設の長寿命化計画に基づき、計画的に公園の再整備や遊具更新を行う。
- ・市民団体による緑化活動の支援に努めることで、公共施設等のみどりの充実を図る。

施策の方向性⑥ 生物多様性の保全

■2023 年度の主な取組

Do

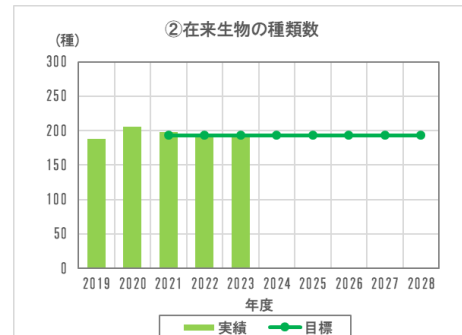
- ・昆陽池公園等において、市民団体や事業者との協働による生物多様性の保全・再生活動に取り組んだ。



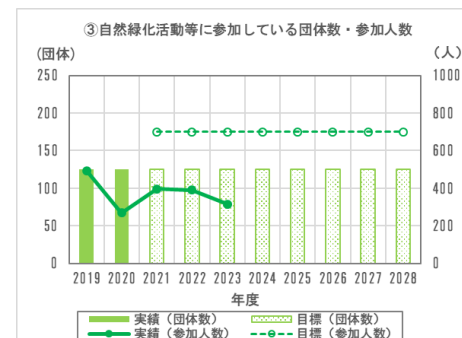
- ・瑞ヶ池公園内にある猪名の笹原モデル園において、市民協働による育成管理に努めるとともに、今池緑地（今池）に新たにオニバスの播種を行うなど、市内貴重植物の保護育成に努めた。



Check



②在来生物の種類数は、前年度に比べて減少したものの、市民団体による自然環境保全活動や調査活動の結果により、2023 年度は単年度目標を達成した。



③自然緑化活動等に参加している団体数及び参加人数は、高齢化等による後継者不足のため、2023 年度は単年度目標を達成できなかった。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・伊丹市昆虫館において、特別展や企画展等を通じて生物多様性に係るさまざまな展示普及活動を推進する。
- ・昆陽池公園等で生物多様性の保全・再生に努めるとともに、講座や講演会を開催することで市民啓発に努める。

基本目標4

良質な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち

■成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019年度)	指標の 性質※	2023年度 実績	目標 (2028年度)
① 環境基準達成率（水質（BOD））	100%	→	100%	100%
② 地域清掃活動支援件数	771件	↑	728件	1,100件
③ 景観に対する市民満足度	79.9%	↑	83.0%	80%
④ 交通ネットワークに対する市民満足度	72.4%	↑	78.8%	73%

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

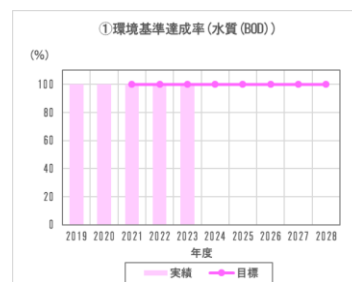
施策の方向性⑦ 生活環境の保全

■2023年度の主な取組

Do

- ・水質、騒音・振動調査及び大気汚染状況、航空機騒音の常時監視を実施し、その調査結果をホームページにて公表した。

Check



①環境基準達成率（水質（BOD））は、100%を維持しており、2023年度は単年度目標を達成した。

■2024年度以降の主な取組

Action

- ・引き続き、水質、騒音・振動調査及び大気汚染状況、航空機騒音の継続した測定と監視を実施し、調査結果をホームページにて公表する。

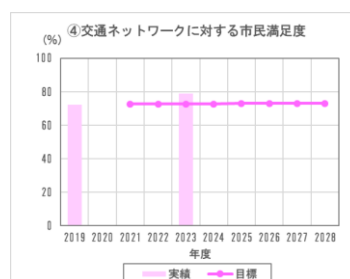
施策の方向性⑨ 安全で快適な道路空間の整備

■2023年度の主な取組

Do

- ・就学前の5歳児を対象に、歩行時の交通ルールやマナーを習得するための交通安全教室を行った。

Check



④交通ネットワークに対する市民満足度は、2023年度は単年度目標を達成した。

■2024年度以降の主な取組

Action

- ・歩行者の安全確保を目的として、交差点や信号機のない横断歩道などで、歩行者、運転者双方に、交通安全意識を向上する啓発活動を引き続き行う。

施策の方向性⑧ 良質な都市空間と住環境の形成

■2023 年度の主な取組

Do

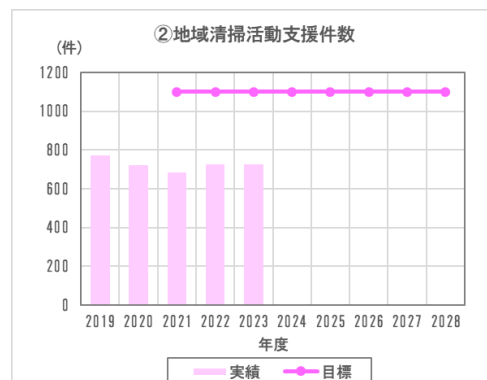
- ・路上喫煙防止条例で定める区域内での喫煙や歩きタバコについて、指導・啓発を実施した。



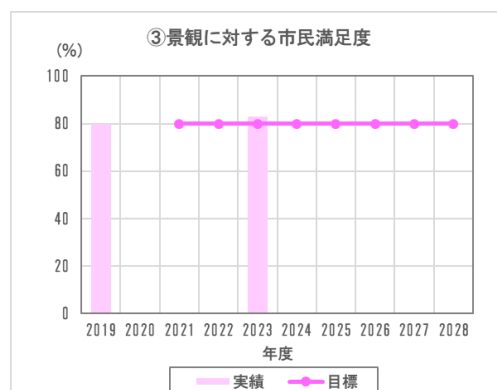
- ・学校給食への市内産農産物の提供を進め、前年を上回る市内産農産物を供給した。



Check



②地域清掃活動支援件数は、緩やかな減少傾向にあり、地域の環境美化に寄与しているものの、2023 年度は単年度目標を達成できなかった。



③景観に対する市民満足度は、2023 年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・地域清掃に取り組む団体が増えるように、自治会等への周知に努めるとともに、地域清掃活動に対して引き続き支援を継続する。
- ・県等と連携し、農業者の知識・技術を目的としたセミナーを開催するとともに今後本市の農業を担う認定農業者の認定を推進していく。

基本目標5

環境意識と協働の輪が広がるまち

■成果指標の進捗状況

成 果 指 標	基準値 (2019 年度)	指標の 性質※	2023 年度 実績	目標 (2028 年度)
① 環境イベント・講座等に参加した人数	4,969 人	↑	14,984 人	5,250 人
② 緑化や自然保護活動に参加した市民の割合	－%	↑	－	10.0%

※指標の性質において、↑は実績値が目標値を上回ることが望ましい項目、→は実績値を維持することが望ましい項目、↓は実績値が目標値を下回ることが望ましい項目を意味する。

施策の方向性⑩ 多様な主体が連携協力する体制の推進(重点プロジェクト)

■2023 年度の主な取組

Do

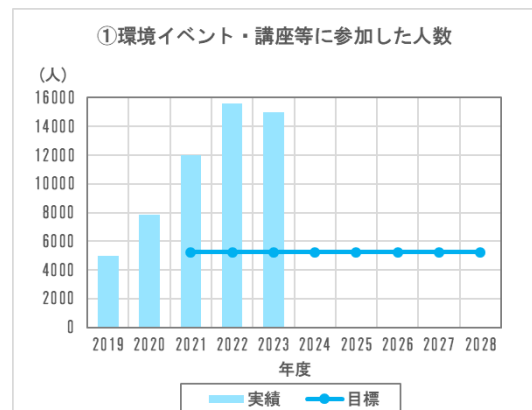
- ・伊丹大使の花村想太氏のナレーション出演によるプラネタリウム 100 周年を記念するプラネタリウム番組を秋に実施する他、市内学校園等において、授業支援、お話し会、天体観望会、サイエンスショー等の市内連携事業を実施した。



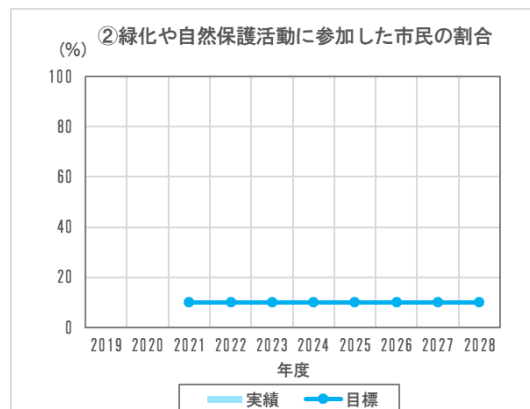
- ・伊丹市、飯南町、阪南市が連携し、地域特性を踏まえたカーボンクレジットの創出・活用を通じて、各地域課題の解決とともに、環境と経済の好循環を生み出す「地域循環共生事業」に着手した。



Check



①環境イベント・講座等に参加した人数は、増加傾向にあり、新規イベントの開催等により、2023 年度は単年度目標を達成した。



②緑化や自然保護活動に参加した市民の割合は、2028 年度までに調査を実施し、評価する。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・飯南町、阪南市とともに地域循環共生事業に取り組むとともに、本事業に賛同・参画する自治体・事業者を募る。
- ・市民向け共同購入支援事業及び事業者向け共同調達支援事業の連携拡大を図るとともに、市広報媒体への掲載やセミナー開催による周知を行う。

施策の方向性⑪ 環境教育・環境学習の推進

■2023 年度の主な取組

Do

- ・SDGsを通して、環境問題を考える講座を実施した。

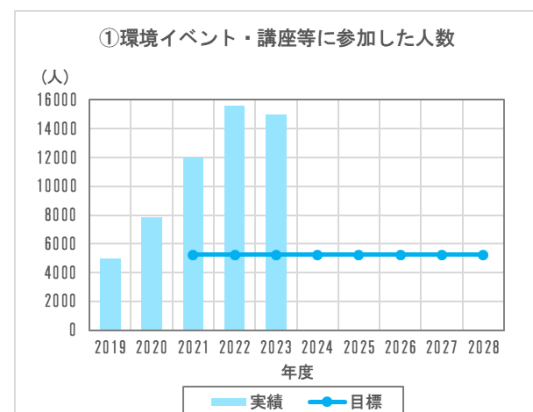


- ・市内の小中学生を対象に環境問題に関するポスター・標語を募集し、エコショップ・図書館「ことば蔵」に加え、Save the future いたみ in 昆陽池公園での入選作品掲示を行った。



Check

(再掲)



①環境イベント・講座等に参加した人数は、増加傾向にあり、新規イベントの開催等により、2023 年度は単年度目標を達成した。

■2024 年度以降の主な取組

Action

- ・保護者や地域と協働した緑化事業や清掃活動などの環境教育を実施する。
- ・環境をテーマとした、参加型の講座を実施する。

参考指標の進捗状況

基本目標	施策の方向性	参考指標
【気候変動】 気候変動に対応するまち	①気候変動の緩和策	エネルギー消費原単位の低減（％）
		公用車における低公害車の導入割合（％）
		伊丹市営バス利用者数（人）
		伊丹市営バス利用者数／総軽油使用量（人/L）
	②気候変動の適応策	透水性舗装面積（㎡）
【循環型社会】 資源が循環する環境に配慮したまち	③廃棄物の発生抑制・再使用等の推進	一人一日当たり家庭系ごみ排出量（g/人・日）
		家庭系ごみ資源化率（％）
		ダンボールコンポストの実施者数（人）
		再生資源集団回収登録団体数（団体）
		事業系ごみ排出量（t）
		事業所指導・啓発回数（回）
	④食品ロスの削減	家庭系食品ロスの廃棄量（推計値）（t）
【自然共生・生物多様性】 自然環境と共生し生物多様性が保全されるまち	⑤みどりの充実	公園に対する市民満足度（％）
		市域面積に対する永続性のある緑地面積の割合（％）
	⑥生物多様性の保全	生物多様性の認知度（％）
		昆虫館の来館者数（人）
		カラスの個体数（％）
【都市環境】 良好な都市空間の整備と生活環境が保全されるまち	⑦生活環境の保全	大気・騒音の環境基準達成率（％）
	⑧良質な都市空間と住環境の形成	農地面積（ha）
	⑨安全で快適な道路空間の整備	都市計画道路の整備率（％）
		自転車レーン等整備区間延長（km）
		自転車駐車場利用台数（台）
		放置自転車等台数（台）
		交通安全教室の参加者数（人）
【人づくり】 環境意識と協働の輪が広がるまち	⑩多様な主体が連携協力する体制の推進	こども文化科学館来館者数（人）
	⑪環境教育・環境学習の推進	環境体験学習の年間実施回数（回）
		環境教育実施園割合（％）
		環境ポスター・標語の応募割合（％）

指標の性質	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績
↓	(市長部局) 100.0	99.50	105.07	105.28	104.65
	(上下水道局) 100.0	99.40	99.10	98.11	98.70
	(病院) 100.0	99.40	100.29	104.21	103.89
	(教育委員会) 100.0	105.60	113.10	110.72	111.17
→	4.96	4.96	5.32	8.13	8.53
↑	15270010	13289115	11908605	12631093	13206694
↑	9.7	9.5	8.5	9.0	9.6
↑	115308	118902	123166	123827	126260
↓	561	566	563	546	520
↑	26.5	26.3	26.6	26.4	26.0
↑	54	58	90	64	53
↑	316	314	298	292	288
↓	22535	21214	21269	21108	20755
↑	62	73	70	54	27
↓	3331	—	—	2909	—
↑	65.7	—	—	—	—
→	19	18.9	18.9	18.9	18.9
↑	29.9	—	—	—	—
↑	134920	94411	123872	142394	137730
↓	54	46	58	64	49
→ ↑	(大気) 100 (騒音) 83	100 90	100 87	100 82	100 77
→	115.87	113.07	110.10	107.54	104.34
↑	88.1	88.2	88.6	88.8	89.0
↑	4.4	5.2	5.6	5.8	6.1
→	6865	5850	5999	6370	6680
↓	991	599	473	626	670
↑	6258	3949	4322	4716	4779
→	47526	23186	45252	55987	54208
→	3	1	3	3	3
→	100	100	100	100	100
↑	22	9.5	16.6	18.8	19.6



伊丹市マスコット たみまる

itami